

宮城野萩だより

宮城野萩だより 第40号

編集・発行 令和3年12月28日

仙台育英学園父母教師会

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2丁目4-1

Tel. 022-256-4141 Fax. 022-299-2408



■ 父母教師会副会長挨拶



コロナ禍での 父母教師会活動

仙台育英学園父母教師会副会長

久道 周彦

父母教師会会員の皆様、この長引くコロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。宮城県内における新型コロナウイルス（COVID-19）感染患者数は3千名を超え、世界的に見ても収束の気配は見えていない状況です。仙台育英学園は、生徒への迅速なワクチン接種を推奨し、適切な感染対策を講じております。その結果、学園での感染クラスターの発生もなく、生徒一人ひとりが目標に向かって安心して努力を重ねることができており、保護者として先頭に立って日々尽力されている加藤理事長・校長先生をはじめ教職員の皆様に感謝いたします。また、COVID-19のパンデミックにより教育環境も激変する中、コロナ禍以前から個人用PCを用いた教育を進めており、リモート授業にも問題なく対応できています。その結果、授業の遅れもなく既に今年度の大学合格者数に成果が現れております。各クラブ活動においても、部員の集合型の活動が制限される中で、指導する顧問の先生方の創意・工夫のもと、全国大会出場を果たすなど大きな功績を示しており、コロナ禍で明るい話題が無かった生徒、保護者はじめ県民の皆さんにも希望と感動を与えてくれたことを感謝いたします。

生徒たちは、先生方のご指導によりコロナ禍の極めて困難な状況を乗り越えて来たことで、多様性を身に着けると共に新たな価値観を創出し、これからの人生を乗り切る礎を築くことができたと確信しております。

父母教師会活動においても、総会での決議が2年続けて書類決議になるなど例年にはない形でのスタートに加え、対面での活動は難しく年度初めに計画した行事は最小限のみとなりましたこと、参加を楽しみにされていた皆様におかれましても、ご理解いただきますようお願い申し上げます。父母教師会としても、通常生活が戻るまで今後の活動内容について改めて検討する必要があると考えております。これからも仙台育英学園並びに父母教師会へのご協力をお願い申し上げます。

Topics

仙台育英学園父母教師会

石巻支部の活動

石巻支部長 木村 健一

仙台育英学園父母教師会会員の皆様には、日頃より PTA 活動に多大なるご理解、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

今年は昨年に引き続き新型コロナウイルスの状況を見ながらの活動となり、例年7月に開催していた支部総会を書面決議により9月に行い、役員の改選、事業計画の承認を頂き今年度のスタートとなりました。

支部の活動としては代を重ねて恒例事業となりましたライオンフォーラムという活動があります。部活動で優秀な成績を収めた生徒や日々の活動で顕著な活躍を見せた生徒を紹介し表彰する事業と仙台育英学園様から講師を派遣頂いて講演会を行い、我々の勉強の場とする事業の2部構成で行ってきました。

昨年は新型コロナの影響で開催を見送る事となり、今年開催についても支部の役員会で意見交換を行い、今後の状況が読めず開催が難しいのではという意見もあった中、加藤雄彦校長先生の後押しも頂き、去る11月13日に無事開催することが出来ました。

この場を借りまして内容を紹介しますと、県大会で上位に入賞しインターハイに出場した、柔道部の大沼朴さん、今野太陽さん、佐々木大城さん、陸上部の佐藤くるみさん、秋山七海さん、若生姫香さん、空手部の星晴喜さんの計7名を表彰させて頂きました。

第二部の講演会におきましては、加藤雄彦校長先生を講師にお招きし「創設される校舎について 東和蛭雪校舎への思い」と題してお話を頂きました。これまでの登米市東和町との関りや仙台育英学園の取り組みなどを織り交ぜながら、新たにスタートする東和蛭雪校舎の様子などを勉強させて頂きました。

まだまだコロナの影響で様々な活動が制限される中ですが、今後共石巻支部の活動にお力添え頂きます様宜しくお願いいたします。



Topics

仙台育英学園父母教師会

登米支部の活動について

登米支部 会長 加藤 亮



本年度はコロナウイルス感染予防の観点より残念ながら、例年行っている4月の総会並びに新入生歓迎会、9月の校長先生を囲む会が中止となりました。通常であれば校長先生をはじめ仙台育英学園の先生方をお迎えし、ご来賓の先生方からの情報提供や会員との情報交換を実施して参りました。その中で、仙台育英学園の教育方針や現在の学校教育の動向、更には家庭教育の在り方など、示唆に富んだお話しをたくさんお聞かせ頂いておりました。また、会員同士でも各家庭や学校生活における生徒や父母の悩みや希望等の情報交換をすることで、お互いの教育方針の確認や不安解消の一助ともなっておりました。

しかし活動自粛が懸念され、そのような機会が提供できないまま本年度の支部活動が一切できないでおりました。感染状況に少しずつ変化が見られてきていることを受けて、感染防止対策等に細心の注意を払いながら、研修会という形で校長先生より「東和蛭雪校舎にける思い」という演題にて12月11日にご講演を頂く機会を頂きました。

登米支部の地元である東和町と仙台育英学園との繋がりを知り、施設開設による先進的で幅広い教育の可能性を感じることができ、大変意義深い貴重な講演でした。登米地域の民間教育機関がかなり少ない中、より教育の幅が広がり地域へ貢献いただけるものと確信いたしました。今後とも登米支部の活動に対してご支援ご指導を頂ければ幸いです。

Report

令和3年度 宮城県高等学校PTA連合会 仙塩支部会員研修会

■日時：11月15日（月）

■会場：イズミティ21

今回の研修会は、仙台大学教授 名取英二氏の講演でした。長きにわたる陸上競技の指導の経験から、夢を実現させるためのポイント、また、部活動を観察していてわかること、競技場でのできごとなどのお話をいただきました。以下、講演の内容をまとめました。



〈演題〉

やる気を支える力を探る

ー長き陸上競技の指導の経験から、若者たちへエールを送るー

〈講演の内容〉

夢の実現を達成するには、それ相当の準備が必要である。しかし、夢を夢で終わらせてしまう学生や現状で満足してしまう学生が増えている。また、こんなにやっても上手くいかない、どうせ私はやってもだめだとあきらめてしまう学生も増えた。

最終的には、自分の夢を達成できずに終わることもある。短距離走で百分の一秒を短縮するためにチャレンジすること。全集中を傾けてトレーニングに取り組むところに価値がある。簡単にあきらめてしまえば、真の喜びを味わうことはできない。

それでは夢の実現のために何が必要なのだろうか。ただやみくもに練習するだけでは自分の夢を実現することはできない。

夢を実現させるためには目標の設定がひとつのポイントになる。

◆目標設定のポイント

- ①自分の現実を知る（自分のこと（現状）をよく知る。）
 - ・記録、身体状況、活動状況、自分の生活・学習、バイトなどの現状を知る。

Report

仙塩支部会員研修会

- ②認識する(自分の現状を分析し、何をどうするかを認識する。)
- ③考える(達成可能な目標。懸け離れた目標は設定しない。)

◆「やる気」に影響するワード

○ポジティブなワード

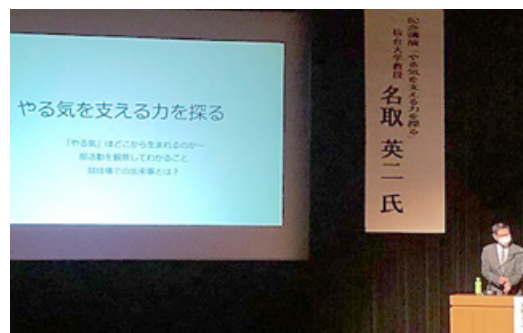
- ・自分はできる ・自分はやれる ・発展途上
- ・やり残したことがたくさんある
- ・能力がある ・信じる

○ネガティブなワード

- ・自分はいけない ・もう無理 ・もう限界
- ・すべてやりきった ・自分の能力はこんなもの
- ・才能がない ・信じられない

- ・ブレーキを踏むように、「いや～」こんなにやってもここまでしかできないと否定し、ネガティブにとらえることはマイナスである。
- ・こんなにやっても上手くいかない、どうせ私はやってももう限界であると考える学生が増加している。また、アドバイスをしたことに対して、「やります」と答えが返ってくるが、つらい練習を超える精神力がないため、日々継続して取り組めない学生も増えている。
- ・常に指導者は、学生の状況を確認しながら、コミュニケーションをとりアドバイスをすることは必要である。
- ・自ら壁(限界)をつくらず、まだやれるというポジティブ思考で目標を設定し、練習できる環境をつくるのが大切である。

「夢を持つ、目標を高く、心を磨く、障害者だからではなく障害者でもできる」ことを信じて、一心に取り組むパラ陸上競技世界大会で2位入賞を果たした選手の姿勢と目標達成に向けてやる気を引き起こす環境づくりをおこなう大人(健常者)との二人三脚の姿は、私たち大人が子供との向き合い方の方向性を示してくれました。



Topics

登米市東和町に新しい校舎、 『東和蛍雪校舎』が誕生します。

佐々木 邦治



【東和蛍雪校舎に生まれ変わることになる旧鱒淵小学校校舎】

新校舎の名称は

『仙台育英学園高等学校東和蛍雪（けいせつ）校舎』

2010年に文部科学省が立ち上げた「みんなの廃校プロジェクト」を活用した取り組みで、仙台育英学園高等学校が2000年の宮城国体の際に、現在の登米学習センターを開設した縁にはじまり、親和性がある登米市東和町内にある旧鱒淵小学校の譲渡を受け、2022年4月26日の開校式挙行を目指し準備を進めています。

改修した新校舎では三つの活用があります。

一つ目は創設者加藤利吉先生の少年期の苦学していた「蛍雪時代」等を展示紹介し、「北の国へ」をはじめとした様々な教材を活用しながら建学精神を学び、生徒が自らの志を立てるための教育研修所として活用します。具体的には新入生のオリエンテーション・国際バカロレアのサマーキャンプ等を行います。

二つ目は介護福祉士を目指すインドネシアからの留学生が介護士の仕事に就くのに必要な授業や実習に励む介護士育成所としての活用です。

三つめは本校卒業生が残した資料・功績展示です。

訪問者が来校して東和蛍雪校舎の玄関に足を踏み入れると、ワクワクドキドキするような展示コンテンツが待ち受けます。「エントランス空間」「談話室空間」「ミュージアムスペース」を備えています。本施設が仙台育英学園高等学校の“新しい学びの場”となるとともに、地域に開かれ地域に信頼される教育施設になるように誠心誠意努めて参ります。

Topics

ハーバード流 LEADERS BOOTCAMP を開催

秋山 直道

ホームルーム運営の際、自分の意見を発言できない生徒が多いように感じます。しかし、私自身も例外なく「自分はリーダーじゃないから」、「話し合ってどうすればいいの?」という思いでいました。本プログラムではそのような悩みを払拭し、生徒自身にとっても実践的なリーダーシップを身に着けることができると確信しています。今回の「ハーバード流 LEADERS BOOTCAMP」では、組織におけるサーバントリーダーシップを発揮するグローバル人材の育成を目指し、講義や話し合いを通したコミュニケーション能力・自己形成力・共感力などの獲得を目的として行われました。

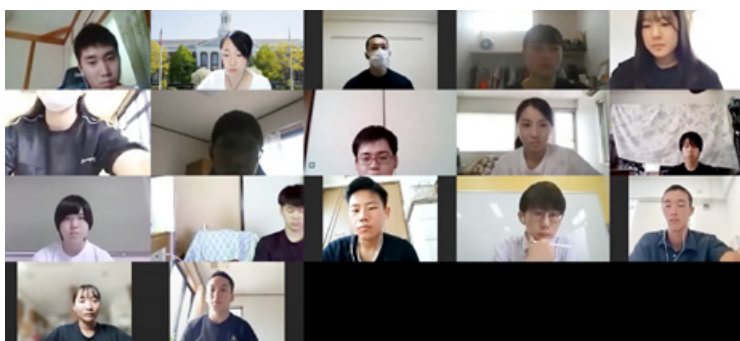
本プログラムでは、ケース・メソッドを中心にリーダーシップ育成が行われるように編成されています。ケース・メソッドの魅力とは、自分の知りえなかった世界を追体験することができる点です。ケース・メソッドによるディスカッションでは、誰もが自然と他者の立場を考えながら、自分自身の意見・考えを発信します。扱われる題材はどれも実践的なものばかりでした。



Report

ハーバード流 LEADERES BOOTCAMP を開催

活動においては異なる立場や意見の狭間で葛藤する場面も見られます。生徒たちはケース・メソッドを通して、自分の視点だけでなく、他者の視点も取り入れつつ物事を考え、弁証法的に物事の解決策を提案する力を身につけました。単に同調するのではなく、自分とは異なる意見・考えを尊重しつつ、自分の考えを発信することの重要性を教えてくれました。同時に、それが自然と身につく本プログラムの卓越性を改めて実感しました。



そもそも「リーダー」という立場は非常に難しいものだと思います。その一方で、リーダーたり得る資質は誰にでも眠っています。本プログラムで学んだ生徒たちが、実生活の中でリーダーシップを発揮し、次のリーダーにつなげていくことと思っています。全活動を終えた生徒たちの達成感・成長ぶりを見て、きっと彼らならそれを実現することができると確信しています。



Topics

避難訓練

いざというときの 災害から自ら命を守る



去る 12 月 7 日、避難訓練が実施されました。当日は、雷警報が発令されたため自分の身を守るシェイクアウトのみの訓練となりました。最近強い地震が各地で頻発するなど、10 年前の東日本大震災が思い起こされます。災害は忘れたところにやってくる、と言われますが、いつ、どのようなときに起こるかわかりません。それだけに常日頃からの災害に対する備えを怠らず、自らの命を守ることが必要です。

今回の避難訓練は、「震度 6 強の地震が発生。その後、レオホールから出火。延焼の恐れがあるため、直ちに、生徒、教職員は避難する。」ことを想定して実施しました。

強い揺れが発生、直ちに「シェイクアウト」ー低い姿勢を取り、むやみに動かず、落下物などから頭を守るー姿勢をとりました。教室では、生徒全員が机の下に身を隠して強い揺れと落下物から危険回避の行動。そして、揺れがおさまった後の避難の基本である「おはし」(おさない・はしらない・しゃべらない) について確認しました。

釜石市の小中学生が、あの東日本大震災の津波から難を逃れました。後に、釜石の軌跡と言われたことは知ってのとおりです。日頃の災害に対する避難行動の訓練が、小中学生の命を守ることに繋がりました。

ぐらっときたらシェイクアウト、避難の際は「おはし」、仙台育英学園の大組織の中の一人として秩序ある行動をする。本日の訓練が、いざというときの災害から、自ら命を守ることに繋がります。

Report

新しい日常に感動を届けた 育英祭・秀光祭

【育英祭】

■育英祭実行委員

ハイブリッド型の育英祭を企画・実行

安倍さん【特別進学コース2年】

こんにちは。この度育英祭実行委員長を務めさせていただきました、特別進学コース2年の安倍佳祐です。

さて、今年の育英祭はオンライン形式と対面形式を並行して行う、いわゆる「ハイブリッド型」という新しい試みの下に開催されました。

オンライン形式では、青空の下で本校の魅力を活かした撮影を各部活動ごとに行いました。猛暑や台風といった天候不良などの影響も心配されましたが、無事に素敵な動画に仕上げることができました。

多賀城校舎で行われた対面式では、会場の設営や装飾、作品の展示に至るまで実行委員が中心となって準備を行いました。例年とは違う環境ではありましたが、しっかりと新型コロナウイルス対策を講じた上で本番を迎え、結果的に二日間にわたって行われた育英祭を成功という形で締め括ることができました。

最後になりますが、私は実行委員長としてこの素晴らしい文化祭に携われたことを非常に光栄に感じています。このコロナ禍という大変厳しい状況の中で開催に向けて尽力して下さいました先生方、実行委員、各部活動生徒の皆さん、そして何より会場に足を運んで下さった多くの方々に感謝の意を表して、挨拶と致します。本当にありがとうございました。



Report

育英祭・秀光祭

【育英祭】

■吹奏楽部

組織の長所が発見できる 良い経験となる

高橋さん【英進進学コース2年】

今回の育英祭はハイブリッド形式で開催され、吹奏楽部はオンライン型・参加型で二回演奏させていただきました。八月下旬に行われたオンライン型用の動画撮影は、三年生の先輩方と演奏できる最後のステージでした。夏のコンクールでは、やむなく出場を見送ることになり、吹奏楽部にとって久しぶりの本番だったため、一人一人が力を入れて取り組んでいました。合奏やスタンドプレイの練習を通して改めて音楽の楽しさを実感することができ、部活全体が団結する良い機会になったと思います。

新体制になってから初の行事となった参加型の育英祭では、一、二年生だけで曲を完成させなければならないというプレッシャーを感じながらも、練習を重ねて自信が付いていき、多くの方々に自分達のサウンドを届ける喜びを感じることができました。当日は天候が優れず練習通りの演出をすることが難しくなってしまったことや、楽器運搬がスムーズに進まないなどアクシデントが多発してしまいましたが、二年生を中心に臨機応変に対応しながら考えて行動する力を身に付けられたと思います。

今回の育英祭は組織としての長所や改善点が発見することができ、とても良い経験になりました。これからも次のコンクールや行事に向けて日々練習し、今まで以上の向上心を持って活動していきたいと思います。



Report

育英祭・秀光祭

【育英祭】

■チアリーディング部

育英祭に参加して

齋藤さん【外国語コース2年】

私達は10月9日、10日に行われた育英祭で計5回演技させていただきました。今回の育英祭が3年生にとって引退前、最後の演技となりました。チアリーディング部は新型コロナウイルスが流行してから、スタンツという組体操のような動きの実施が制限され、大きな声を出しての演技も自粛せざるを得ない状況にありました。また、本番を迎えるまでにも、分散登校で部員全員が集まっての練習が難しくなり、オンラインや自宅での自主練習が続くこともありました。しかし、今年度からは、全国の感染状況に応じて少しずつ制限も緩和され、育英祭ではスタンツや声出しを取り入れた演技を披露することができました。練習では感染予防対策のため、こまめな手指消毒やいくつかのチームに分かれるなど様々な取り組みを行い、本番を万全の状態を迎えられるように全員で協力してきました。そのため、最初で最後となる1、2、3年生全員47人での演技を育英祭で披露し、最高の思い出を創れたことをとても嬉しく思います。そして、演技をご覧いただいたたくさんの方々に、私達のモットーである「元氣、勇氣、笑顔」をお届けできて良かったです。コロナ渦の中、育英祭を開催していただき、本当にありがとうございました。



Report

育英祭・秀光祭

【育英祭】**■軽音楽部****軽音楽部の育英祭に参加して**

内海さん【特別進学コース3年】

我々の代の軽音楽部は何かとトラブルや障害が多く、特に昨年と今年は新型コロナウイルスの影響で思うような活動ができない時期が続いたこともありました。それでも軽音楽部はその度に試行錯誤し、部の仲間達と共に乗り越え、部室を転々としながらも楽しく活動を続けてきました。そして昨年に引き続いてのオンライン育英祭、例年とは異なる形となった参加型育英祭でも今の自分達にできる最高のステージを作り上げ、三年間の集大成を示すことができたと思います。また今回のような難しい状況での開催を経験し、今までの活動がさまざまな人に支えていただいたことで続けられたものだったということを改めて実感することができ、そういった意味でも非常に有意義な育英祭でした。

もうひとつ印象に残ったのは後輩達のステージでした。コロナ禍での活動自粛などもあり、“軽音楽部”らしさを後輩達に伝えることができていたか不安を感じていましたが、後輩達は技術面でも精神面でも素晴らしいステージを見せてくれ、代替わりの不安はむしろ、大きな期待に変わりました。きっとこれからの軽音楽部をさらに盛り上げていってくれることでしょう。これから彼らがどのような軽音楽部を作り上げるのか、楽しみでなりません。



Report

育英祭・秀光祭

【秀光祭】

■オーケストラ部

秀光祭を振り返って

佐藤さん【特別進学コース2年】

まず初めに、今年もオンラインであっても秀光祭を開催していただいたこと、とても嬉しく思います。一昨年までのように皆さんの前で演奏できないのは少し寂しいですが、新型コロナウイルスの影響でイベントが少ない中、とても良い経験となりました。

今年は活動面でも演奏面でも支える高校生の人数が少なかったため、とても大変でした。全ての楽器に先輩がいるというわけではないため、先輩がいるパートでは先輩が後輩をリードし、いないパートでは自分達で計画的に練習したり教え合ったりして先生に見てもらうなど、それぞれの部員ができることをし、短い時間の中で一生懸命頑張っていました。私も皆に、ただ音を出すだけではなく強弱や調和を意識するなど、もっと上を目指してほしいと思ったので、帰りの会で少しアドバイスをしたり、励ましたりしました。皆で協力して1つの音楽をつくっていくことで、部員同士の絆が深まったような気がします。

秀光祭本番では、今年初めてのイベントということで多くの部員が緊張していましたが、私達が今できる精一杯の演奏をすることができたと思います。私は秀光祭に出るのが今年で最後なので、来年皆の演奏を聴くのが楽しみです。

最後になりますが、秀光祭を開催するにあたってご尽力くださった全ての関係者の皆様、先生方誠にありがとうございました。



Report

育英祭・秀光祭

【秀光祭】**■合唱部****秀光祭に参加して**

和田さん【秀光コース2年】

今年度から私は合唱部に所属し、およそ半年間練習に勤しんできました。合唱はコロナ禍の影響を大きく受け大人数での練習がままならない中、秀光祭に向けて練習し発表として完成させる必要があり、苦労もありましたが有意義な経験となったと思います。

合唱部全員で歌った「群青」は学年を超えて協働する良い機会となったと思います。特に中学生と高校生の間での連携は非常に珍しく、高校時から入学した自分にとっては初めての経験でもありました。秀光祭の発表としての動画構成などについては全員で意見を出し合い、完成した動画を見た際に強い達成感を感じました。

また高校生第二学年のみで「YOASOBI メドレー」を歌いました。秀光祭に向けてかなり短期間で仕上げることになり、また五人という少人数で曲を作り上げるには一人一人がメロディーとハモリの両方を担当する必要があり、難しさもありましたが非常にやりがいを感じました。

秀光祭後には両方の曲について多くの方からお褒めの言葉をいただきました。秀光祭は自分にとって合唱の魅力を再認識し、より興味を持つ機会となりました。

応援してくださった皆様、合唱部として発表を完成させた部員の皆さん、終始多大なるご協力をいただいた顧問の先生方に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



Report

育英祭・秀光祭

【秀光祭】

■三味線演奏

学年合奏を振り返って ～長唄「勸進帳」より

岸本さん【秀光コース1年】

高1になって音楽の授業で三味線の経験ができたことに感謝しています。三味線を間近で見た時に、本当に演奏できるのか不安だったが、丁寧なご指導のもとで何とか秀光祭で披露することができました。短時間で成果をあげることは大変だったが、音やリズムに気を付けながら表現できました。長唄の先生やクラスの人々と協調し合いながらひとつの演奏を創り上げること、動画を視聴して下さった方々に喜んでもらえるように努力することは素晴らしいことだと思うので学習発表は大切な教育だと思いました。

三味線は弦楽器だが、ひとつの音を長い時間響かせることができないので、何回も撥で叩くことが時に打楽器のように感じました。3本しかない絃で大胆な音から繊細で優しい音を奏でられるのが三味線の魅力だと思います。中学の時に音楽の授業でヴァイオリンを教えていただいたが、音も弾き方も形も全く違います。三味線はじめ和楽器はシンプルで素朴です。現在も改良されることなく、その音色には和を感じることができます。日本人の美意識ではないかと思いました。



Report

育英祭・秀光祭

【秀光祭】

■個人有志発表 & 学年発表

発表という体験から、 新たな目標を見つける

大田さん【秀光中学校1年】

私は、秀光祭で個人有志発表と学年発表でスライドの作成と代表発表を行いました。個人有志発表では、中島みゆきさんの糸を歌いました。オンラインではありましたが、友達や先生の前で発表するという体験を通して、新たな目標を見つけられました。

私のクラスではもうひとり、三味線の発表をした友だちがいました。クラスメイトの新たな面や意外なところを見つけられました。

グループでの代表発表では、宮城野校舎の環境保全に関する取り組みについてのスライド発表を行いました。班ではスライド作成の役割分担を行い、協力して短時間で質の良いスライドを作成することを心がけました。またスライドは、色やフォント、アニメーションを統一することで落ち着きがあり見やすいものにしました。

他学年の発表も素晴らしく、中学二年生の劇の発表は、興味を引き付ける面白い演出だと思いました。また、秀光コースのPP活動の発表にあった「性的マイノリティーをテーマにした小説を書く」は、私が興味を持っていたジェンダー平等の問題がテーマだったのでとても印象に残り、やってみたいなと思いました。

今後も、さまざまな行事に積極的に参加していきたいと思っています。



Report

育英祭・秀光祭

【秀光祭】**■ 学年発表****人形劇で米沢の歴史を伝える**

武山さん【秀光中学校2年】

秀光祭で2年生が披露したのは、米沢の歴史を伝える人形劇でした。脚本、人形作り、劇の構成を考える3つの班に分かれて準備をしました。私が担当したのは脚本でした。脚本を作ったことのない私は、上杉家の歴史を理解するために動画サイトやインターネットを使って調べ、友人の力も借りて脚本は完成しました。

脚本の作成のために、米沢の歴史や伝統産業を調べその上で登場人物の性格に合わせて台詞を考えて行かなければならず、私にとってよい経験になりました。

**皆の想いが伝わる人形劇が完成**

菅原さん【秀光中学校2年】

今回の発表で、私は劇の全体の構成を考える担当でした。最初は脚本班と人形班とも話がまとまらず困り果てたようでした。しかし、いざそれぞれの役割が決まると、皆で協力して練習を進めていました。団結力と集中力がとても印象に残っています。

撮影当日は、それまでも代役をたて何度もリハーサルを重ねていったおかげで、だれでもどのような動きをするのか、台詞の緩急や強弱を覚えていたので失敗することなく撮影をすることができました。

人形劇を通して米沢の歴史を知ってもらいたいというみんなの想いが伝わる作品になりました。この秀光祭を通じて、学年の仲が一生深まったように思います。



Report

育英祭・秀光祭

【秀光祭】**■ 学年発表****昨年より成長した姿がみられた発表**

菊地さん【秀光中学校3年】

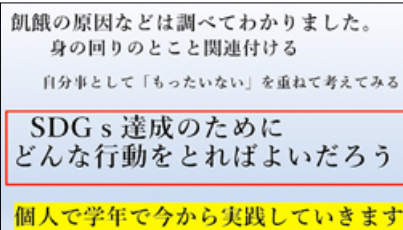
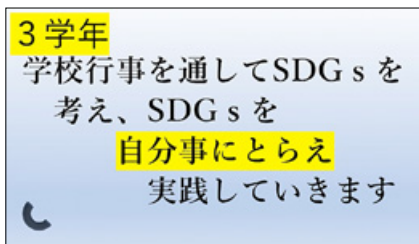
コロナ禍二度目の秀光祭、私は昨年に続き今年もSDG sについて3学年発表のナレーションに参加しました。

2学年時はグリーンスクールや伊豆沼に行きラムサール条約について学習したことをまとめ、主に気候変動について調べ、SDG sの基礎を学習したことを発表しました。そして3学年では、SDG sについて更に深く学び、2030年のゴールに向けて今私たちがやるべき事を学年で考え、発表することができました。

去年よりも成長した姿を見せることができたと思います。ナレーションをした際難しかったのは、セリフに合わせ二人一組でアニメーションやスライドを動かしたところです。

秀光祭の他の発表では、特に個人発表で自分の特技を堂々と発表する姿も見ることができ、コロナ禍の今、他学年との交流が少なかった学校生活でとても刺激を受けたよい機会だったと思いました。部活動も制限された中で創意工夫しながら新しい発表の形が感動的で、何度も見ることができました。

中学校最後の三年生として実行委員の連帯も強く感じることができました。楽しみにしていた行事予定が中止となるが多かった中学生活でしたが、来年からの高校生活に向けて新たな取り組みに挑戦し、コロナに負けない学校生活を送っていききたいと強く思いました。



個人で学年で今から実践していきます

Essay 生徒から

【松島研修】

Essay-1

松島の歴史・文化・自然の 魅力に触れる

千葉さん【外国語コース2年】

私たちは探究学習でSDGsについて調べ、12月9日に松島へ研修に行きました。そして、松島の歴史や文化、自然などさまざまな魅力に触れてきました。

まず、私たちは観瀾亭へ行きました。そこは伊達家の御仮屋敷殿として建てられたもので、内装は桃山文化の息吹を感じることができる豪華なものでした。ここでは、松島湾を眺めながらお抹茶とお茶菓子を楽しみました。

次に、円通院と五大堂へ行きました。円通院では美しい庭園を見て回りました。境内の奥には伊達光宗を祀る華麗な色彩模様の厨子がありました。これは一説には、政宗の命によりローマに派遣された支倉常長が持ち帰った西洋文化を伝えているといわれています。五大堂は、松島のシンボルと呼ばれています。そこへ渡る透かし橋からは5m下の海面を覗くことができました。その名の通り、足元が透けていてなかなかスリリングでした。この橋には二つの説があります。一つは、聖域に入る前に参拝者の心を引き締めるための戒めとしてのもの、もう一つは、足元を見て将来をしっかりと見定めるためのものという説です。改めて将来について考える良い機会になりました。また、この日は五大明王像の御開帳が行われていなかったため、次回開帳される2039年にまた訪れたいです。

午後は福浦島へ行き、ボランティア活動としてごみ拾いに取り組みました。ペットボトルやプラスチック容器などのごみは、特に海岸周辺に多くあり、どこからか流れ着いたものもあったのではないかと思います。この問題はSDGsの「海の豊かさを守ろう」という目標にも結び付いています。今回ゴミ拾いに参加したことで、より身近な問題であると感じることができました。自分たちにできることは何か、と一人一人が改めてしっかりと考えていくべきだと思います。

この松島研修で学んだことを今後に生かしていきたいです。



Essay 生徒から

【松島研修】

Essay-2

松島町の震災復興

寺嶋さん【外国語コース 2年】

私は、「松島町の震災復興」をテーマに掲げ、「観光復興」をキーワードに松島 SDGs 探究研修に参加しました。「観光復興」とは、観光しながら震災復興を学ぶことだと思っていましたが、事前学習で「東北復興のために観光の魅力を重点的に向上し、国内外へ発信し、誘客を促進すること」だと知りました。

経済の面では、利久のお団子と牛タン串焼きを食べました。利久には牛タン系の食べ物しかないと思っていましたが、宮城ならではのずんだのお団子や、観光客向けの牛タンの串焼き、牛タンまんじゅうなどが売っていて、食べ歩きができるような物がたくさん売っていることを知りました。

社会・文化の面では、雄島に行ってきました。そこには松尾芭蕉の「奥の細道」の石碑があり、松尾芭蕉も雄島に上陸したのだと実感することができました。雄島に架かる渡月橋は、津波で流されて2015年に再建されたそうです。橋が2015年に作られたという部分をしっかりと確認し、本当に津波で流されてしまったのだなと感じました。

環境面では、スターバックスコーヒーに行きました。そのトイレには、「コーヒー豆かすリサイクル脱臭剤」というものがあり、リサイクルへの取り組みを見ることができました。また、スターバックスコーヒーの客の他にも食べ歩きをする観光客が多いからか、町にはたくさんのごみ箱がありました。そこから、ポイ捨てを無くそうとしている町の取り組みが見られました。

今回の研修を通して、松島町の震災復興への取り組みの一部や新たな魅力を知ることができました。宮城県民として松島の良さをたくさん知ることができて良かったです。今後もSDGsを意識して、自分にできることを少しずつしていこうと思います。



Essay

生徒から

【PLAN2000】

Essay-3

PLAN2000 に参加して

遠藤さん【特別進学コース 1年】

高校生活が始まり、9か月が経ちました。新型コロナウイルスの影響で通常授業を行うことすら難しかった時期を乗り越え私達は必死に勉学に取り組んでいます。今回のPLAN2000では18時間を超える自習時間を設けていただき、私達がそれぞれ目標をもって、主体的に勉強できる環境を用意していただきました。その自習時間を通して生徒一人ひとりが勉強に対する姿勢、勉強の仕方など様々な課題を見つけることができたと思います。

それを生かし、より高みを目指してこれからも私達が勉学に励んでいければと思います。

最後に豊かな自然の中で私たちが自らの勉学に対する姿勢を見直す機会をくださった、ヴァルトベルク様、理事長先生、各クラス担任の先生方、保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。



Essay

生徒から

【PLAN2000】

Essay-4

PLAN2000 に参加して

梅澤さん【特別進学コース 1 年】

最初に PLAN2000 についての内容を聞いたとき、正直やりたくないなというネガティブな感情がありました。

しかし行ってみると、国数英の講習と多くの自習時間で最終日には気持ちのいい達成感を味わうことができました。特に自習時間は各々が自分に必要な教科に取り組み、全員が集中している様子が見られました。お互いに教えあったりもしていて、良い学習環境が出来上がっていました。クラス対抗の大縄跳び大会もあって新型コロナウイルスの影響であまり関わっていなかったクラスメイトとも話すことができ、絆が一層深まったと思っています。

朝早くから夜遅くまで二泊三日の間、勉強するという経験は私を成長させてくれたと確信しています。実際に、PLAN2000 後に行われた三学期考査では二学期より大幅に点数を上げることができました。

私は PLAN2000 に参加してよかったと思っています。そしてこれからもこの行事を続けていってほしいです。



Essay 部活動

■書道部

全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ大会優勝 決勝大会に出場

書の甲子園など数々の大会で輝かしい賞を受賞。そして、火災予防運動、飲酒運転根絶など多方面で活躍の書道部を紹介いたします。

みんながいるから頑張れる —書道部の活動—

書道部顧問 渡邊 章紀



これまで学園をはじめ、父母教師会、同窓会、生徒会など、多くの皆様のご理解とご協力等により、各種コンクールへの出場、イベントへの参加など活動が続けてこれましたことに感謝申し上げます。書道部の活動は、主に（１）作品制作、（２）書道パフォーマンスの２つを軸に行っています。

（１）作品制作について

文化部のインターハイと言われる①全国高等学校総合文化祭②国際高校生選抜書展（書の甲子園）の２つの大会を主としています。他に大学主催の全国大会など、年間約１０～１２書道展に出品しています。

①全国高等学校総合文化祭

宮城県代表として、島根大会（平成１９（２００７）年）に初出場し、長野大会（平成３０（２０１８）年）以降、来年度の東京大会（令和４（２０２２）年）まで、５年連続６回目、計９名が選出され、漢字、仮名、篆刻の３部門に出品しています。

Essay

部活動

特に2020高知総文は新型コロナウイルス感染症の関係により、WEB開催となりましたが、本校書道部初となる特別賞を受賞しました。来年度の2022東京総文では漢字部門と篆刻部門で2名の代表が決定しています。



2020 高知総文宮城県代表
岡茜里さんの作品
漢字の部「石臺孝経」

②国際高校生選抜書展（書の甲子園）

大阪市立美術館を会場に、「書の甲子園」として親しまれています。今年（2021）度は、国内外から11,368作品が出品されました。第19回大会（2010年度）で初の全国準優勝、27回（2018年度）大会で念願の全国初優勝。そして今年度、3年ぶり2度目の全国優勝をすることができました。

新型コロナウイルスの関係から、部員は各家庭で練習に励みました。本校独自のICT環境を活用しながらの添削指導等により、生徒たちの意地と執念にて作品を制作しました。



第27回優勝時、表彰式後メンバーと
（毎日新聞大阪本社前にて）



全国優勝正式発表の記事
2021年11月26日の毎日新聞

（2）書道パフォーマンスについて

震災後の2012年に、袖ヶ浦高校が石巻で震災復興の書道パフォーマンスに訪れたことがきっかけとなり、同校との交流が始まり、既に交流があった三島高校（映画「書道ガールズ」の舞台校）の3校と、雄勝での震災復興書道パフォーマンスを行いました。この書道パフォーマンスを行いたくて入部の希望者も増えています。



2013年雄勝町での
書道パフォーマンスの一部
左から千葉県袖ヶ浦高校、
中央愛媛県立三島高校、右が本校

Essay

部活動

①書道パフォーマンス甲子園

この大会には平成28(2016)年第9回大会から挑み始めました。これまでは北海道東北地区予選大会で敗退しており、全国大会への出場はまだ出来ません。今後は一層学びを深めてパフォーマンスの質向上を目指し、近い将来に出場を目指しています。



書道パフォーマンス「魂」
さんみらい多賀城イベントプラザ(STEP)にて
※5月初旬に映像を提出するため、撮影。

②全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ大会

南東北地区11月上旬/北海道東北大会12月中旬/決勝大会1月下旬

今(2021)年度から始まった南東北大会、北海道東北大会の両大会で優勝し、来年1月に開催される決勝大会に出場し、全国の代表15校と演技を競います。特に、北海道東北大会では、大曲高校のパフォーマンスに圧巻され、「魅せるパフォーマンス」の在り方を大きく学びました。



書道パフォーマンス「紡ぐ」
イオンモール新利府(南館)
※北海道東北大会での様子

本学園は、元鼓童メンバーが創設した「和太鼓Atoa」様から作曲頂き、和太鼓指導のみならず、舞踊、所作、演出全体までも指導頂いております。

③その他の活動

YouTubeでも多数紹介しております。ぜひご覧ください。

I 仙台市消防局様「秋の火災予防運動」

火災予防書道パフォーマンス 秋の火災予防運動
- YouTube



仙台市消防局

II 宮城県警察本部様「飲酒運転根絶運動」

第14弾 仙台育英学園書道部×県警音楽隊
飲酒運転根絶書道パフォーマンス - YouTube



宮城県警察本部

III 多賀城市様

第15話 | あしたが上々(ashitagajojo.jp)
その他も掲載されております。



Essay

部活動

■かるた同好会

「運命戦」を勝ち取る

福田さん【特別進学コース1年】

かるた同好会は、十月に第三十回宮城県高等学校小倉百人一首競技かるた大会に出場しました。普段少ない人数で練習している私たちにとって、多くの選手と試合ができる貴重な大会でした。そのような中、私は初心者ブロックで優勝することができました。まさか自分が優勝できとは思っていませんでした。嬉しさよりも驚きでいっぱいでした。準決勝と決勝の試合では、自陣と相手陣ともに、残りの札が一枚ずつの「運命戦」と呼ばれる状態になりました。どちらの試合でも自陣の札が読まれ、勝つことができました。その際に読まれたのが好きな札で嬉しかったことを覚えています。

普段私たちは試合形式の練習をしています。練習終了後、対戦相手と良かった点、反省点などを話し合うことで、お互いに自分の課題点を認識することができます。この練習によって弱点を補強し、技術の向上を目指しました。

私たちは七月に初めて出場した大会で、他校の強さと自分の無力さを痛感しました。その悔しさとともに日々練習を重ね、上達することができました。今は、一枚でも多く札を取り、一試合でも多く勝つことを目標に練習しています。そしていずれは全国大会の予選ブロックで活躍できる選手になりたいと思います。



Message 全国出場部活動主将から

目指すは日本一！ 続々と全国大会出場決定

■陸上競技部長距離

堅忍不拔の精神で走りの本質で 勝負し、真の強さの証明と王座奪還

男子主将 堀さん

【県予選のタイム】 2時間03分46秒

【全国大会の目標タイム】 2時間01分30秒

日頃から陸上競技部への応援ありがとうございます。お陰様で今年も全国高校駅伝に出場することができました。今年で72回目となる歴史ある大会に出場できること、心より感謝し、目標達成に向け、身の引き締まる思いです。

私が1年次の第70回大会では3年生の強い走りでチームは優勝することができました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、満足いくトレーニングができなかった1年となりましたが、後半区間の3年生が怒涛の追い上げで2位という結果を残してくれました。しかし、昨年の2位は私達にとって大変悔しい思いとなり、私達3年生は過去の2大会で『勝者の1位』と『敗者の1位』という天と地を経験いたしました。こんな経験値を積んだ私達だからこそ、チャレンジャーとして『王座奪還』を合言葉にもう一度『勝者の1位』で優勝旗を仙台に持ち帰りたいと思います。

今年も3年生を中心にまとまりのあるチームにです。その3年生が柱となり、勢いのある1・2年生と力を合わせ、心を燃やし、チームテーマでもある『走りの本質で勝負』を実行し、目標達成に向け頑張りたいと思います。

今年度で震災10年目を迎えます。この節目の年、また世の中に暗いニュースが多い時だからこそスポーツを通して応援して下さい皆様にも少しでも元気と笑顔をプレゼント出来るよう至誠力走いたします。12月26日の応援よろしく願いいたします。

全国高校駅伝競走大会
堂々、第3位入賞
底力を発揮

【記録】

2時間2分59秒



Message

全国出場部活動主将から

■陸上競技部長距離

全国優勝、そして最多優勝回数を達成

女子主将 米澤さん

【県予選のタイム】 1時間07分12秒

【全国大会の目標タイム】 1時間06分台

10月17日に行われた県予選では、1時間07分12秒というタイムで、全都道府県トップの記録で走ることが出来ました。12月26日に行われる全国駅伝では、県予選を上回る1時間06分台を目指しています。

去年は3位という悔しい結果に終わってしまい、そこからの1年間は今年こそは絶対に優勝するという思いで練習を頑張ってきました。本番はベストメンバーで臨み、1区からアンカーまで首位を独占し、優勝のゴールテープを切ることを目標にしています。

今年のチームの特徴は、1年生に強力な選手が多いので、2・3年生もそこに負けないように切磋琢磨することにより、チーム内競争も高まり、より強いチーム作りが来ています。また、1年・2年・3年の全学年に主力となる選手がいて、バランスの取れたチーム編成となっています。

今年は30回目の出場となる節目の年なので、目標である優勝を必ず達成し、最多優勝回数5回という快挙を成し遂げたいです。

全国高校駅伝競走大会

2年ぶりに優勝のフィニッシュ（最多5回目の優勝）

【記録】 1時間7分16秒（歴代9位のタイム）



Message

全国出場部活動主将から

■サッカー部 男子

変革の年 全国制覇を目指すチームへ

主将 島野さん

【県予選のスコア】

2回戦 対 仙台商業 6－1
準々決勝 対 東北 6－1
準決勝 対 利府 3－1
決 勝 対 聖和 2－0

【全国大会の目標】

全国制覇

今年のチーム目標は、全国制覇です。チームとして、4年連続で全国大会出場を経験していることで、全国大会で勝ち抜くことの難しさを感じる一方、全国で勝ち上がりたいという気持ちが選手の中でも年々強くなっていきました。8月の全国高校総体で敗退後、宮城県予選をとおして個の力とチーム全体のレベルアップを図ってきました。個人で局面を打開し、前線からの早いプレッシャーからボールを奪い、ゴールまで攻める。また、サイド攻撃を仕掛けていく育英のスタイルで、全員でゴールをもぎ取りたいと思います。

選手権大会までの残された期間でいい準備をし、最高のチーム状態に仕上げて、チーム一丸となって一戦一戦に臨みたいと思います。

今年の

全国大会もコロナ禍が続く中で、従来の大会形式とは異なる形で行われますが、大会開催に尽力してくださった大会関係者の方々への感謝の想いをもって、宮城県代表として全力でプレーしたいと思います。記念すべき100回大会に出場することのできる喜びを噛みしめて、勝利を目指して頑張ります。

皆様からの力強い応援をよろしくお願い致します。



Message

全国出場部活動主将から

■ラグビー部

Team First

主将 片山さん

【県予選のスコア】

- ・準決勝 対利府 156－0
- ・決 勝 対石巻工業 82－10

【全国大会の目標】

- ・2年連続の年越しとベスト8

新チーム発足当初、東北新人大会ではライバル秋田工業高校に競り負け、全国選抜大会では1回戦敗退を喫するなど、思うような結果が出ませんでした。大会中止なども重なり、春のシーズンはハイレベルな試合が経験できず、自信が持てずにいました。そんな状況の中にあっても選手・マネージャー・スタッフが一体となり、全員が最善を尽くすことを心掛け、練習に打ち込みました。その努力が実を結び、夏の7人制大会では昨年度花園準優勝校の京都成章高校に逆転勝利を収め、ミニ国体では秋田県代表に勝ち、ブロック優勝を達成するなど、着実に成果として表れ、自信に変わりました。

今年のチームは重量級FWと突破力に自信を持つBKを揃え、「堅守速攻」を合言葉にプレーをしています。また、先輩・後輩の垣根を越え仲の良いチームになってきたと感じています。

今大会も初戦から強敵揃いですが、まずは一戦必勝の気持ちで初戦から走りまわり、全国に「逆転の仙台育英」を轟かせます。

皆様、応援よろしくお願い致します。



Message

全国出場部活動主将から

■硬式テニス部 男子

団結し、崩れないチーム

主将 齋藤さん

【新人大会テニス競技（団体部）の対戦結果】

2回戦 5－0 気仙沼向洋
3回戦 5－0 仙台向山
決勝リーグ1回戦 3－2 東陵
決勝リーグ2回戦 3－2 仙台第三
決勝リーグ3回戦 4－1 東北学院

【全国大会の目標】

ベスト 8

僕たち男子硬式テニス部の全国大会での目標は団体でベスト 8 を目指しています。前回大会は惜しくも 2 回戦で敗れてしまい、とても悔しい想いをしました。先輩方から得たことも参考にしながら、今大会はメンバー全員が勝ちを意識してそれぞれの課題に取り組み、密度の濃い練習をしています。

僕たちテニス部の部員はとても個性的な人が多く、型にハマらないのが特徴です。練習や試合ではもちろん真剣プレーしますが、その中でも常に勝負を楽しむ心を全員持っています。仲も良く活気溢れています。全国大会という舞台は県大会や東北大会とは比べ物にならないほどの緊張や学校を背負って期待されているプレッシャーを感じると思います。しかし、試合と同じ緊張感の中で普段から練習し、今までの努力を信じて全員で勝ちを取りに行きます。仲間と団結して、崩れず、チームで最高の結果を残せるように頑張りたいと思います。



Message

全国出場部活動主将から

■硬式テニス部 女子

最後まで諦めない気持ち

主将 千葉さん

【新人大会テニス競技（団体部）の対戦結果】

2回戦 5－0 多賀城
決勝リーグ1回戦 5－0 宮城第一
決勝リーグ2回戦 5－0 名取北
決勝リーグ3回戦 4－1 東陵

【全国大会の目標】

ベスト8

第44回全国選抜高校テニス大会に向けて、「逆転の仙台育英」をスローガンに一致団結し、試合では劣勢な状況でも最後まで強い気持ちを持って、諦めずに戦います。

私たち硬式テニス部は、学年関係なく仲がいいチームです。一人一人が選手としての自覚を持ち、日頃の練習に取り組み、テニスに対する熱い情熱と仲間との強い絆を武器に頑張ります。

昨年度2回戦で負けてしまったので、今大会ではベスト8以上を目指したいです。また、日頃からお世話になっている方々への感謝の気持ちを忘れずに、一戦必勝で戦います。



Message

全国出場部活動主将から

■空手道部

闘心～日本一になるまで

主将 星さん

【県予選のスコア】

- ・男子団体組手 決勝 対登米総合産業 3-2
- ・男子団体形 準決勝 対城南
決勝 対東北学院
- ・女子団体組手 1回戦 対石巻桜坂 3-2
準決勝 対石巻好文館 5-0
決勝 対聖和学園 1-3

【全国大会の目標】

日本一

1月に行われる東北選抜に個人戦7名、男女団体組手、男子団体形に出場します。この東北選抜の優勝者が全国選抜に出場できます。自分達にとってはこれからの大会すべてが最後になります。先輩方が引退し、新チームになり去年先輩方が残した成績を越えられるように、一日一日の練習を大切に、保護者の皆様や先生方、先輩の応援の応援がある中、全国選抜出場への切符を取れるように皆様の思いを胸に、後悔のないようにしっかりと力を出し切れるように頑張ります。



2021 年度をふりかえって

仙台育英学園 この一年

《4月》

- ・ 始業式 (4/6)
- ・ 秀光中開校式 (4/6)
- ・ 秀光中・秀光コース入学式 (4/24)
- ・ ILC 入学式 (宮城野 (4/10)、青森 (4/9)、沖縄 (4/22))
- ・ 仙台育英学園高等学校入学式 (4/29)



《4月》仙台育英学園高等学校入学式



《4月》秀光中開校式

《5月》

- ・ 秀光中1年自転車安全教室 (5/12)
- ・ I-lion Day (5/22)
- ・ 父母教師会総会 (書面評決) (5/31)



《5月》I-lion Day

《6月》

- ・ 宮城県高校総体 (11 種目の優勝・全国大会出場) (6/5 ~ 7)
- ・ 仙台市中総体 (6/12 ~ 14)
- ・ 高校 Open Campus in Miyagino I (6/26)
- ・ 第2学期開始 (6/28)



《6月》仙台市中総体



《6月》宮城県高校総体

2021 年度をふりかえって

仙台育英学園 この一年

《7月》

- ・ 高校 Open Campus in Miyagino II (7/3)、III (7/10)、IV (7/17)
- ・ 秀光 Open Campus Day I (7/4)、II (7/18)
- ・ 秀光中グリーンスクール (7/19～21)
- ・ 宮城県中総体 (7/22～25)
- ・ 秀光中3年岩手研修 (7/29～30)
- ・ PLAN2000 (特進)



《7月》秀光中グリーンスクール



《7月》秀光中3年岩手研修

《8月》

- ・ 全国高校総合体育大会 (11 種目出場)
- ・ 授業開始 (8/26)
- ・ PLAN2000 (特進: 8/30～9/1)
- ・ 中学弁論大会 (8/31)



《8月》全国高校総合体育大会



《8月》PLAN2000

《9月》

- ・ PLAN2000 (特進: 9/4～6、9/6～8、9/8～10)
- ・ 秀光 Open Campus Day IV (9/11)
- ・ ILC 卒業式・入学式 (沖縄 (9/21)、宮城 (9/25)、青森 (9/26))



《9月》秀光 Open Campus Day IV



《9月》ILC卒業式

2021 年度をふりかえって 仙台育英学園 この一年

《10月》

- ・ 学園創立記念日（創立116周年）
- ・ 3学期開始
- ・ 育英祭（10/9・10）
- ・ 高校 Open Campus in Tagajo V（10/9）、VI（10/10）
- ・ 秀光祭（10/16）



《11月》

- ・ 秀光進路講話（11/6）
- ・ 秀光入試説明会①（11/23）
- ・ 高校入試個別相談会（11/27）



《12月》

- ・ 創立者ご誕生日（139年、12/3）
- ・ 秀光入試説明会①（12/4）
- ・ 防災避難訓練（12/7）
- ・ 外国語松島研修

